

市政に関する一般質問

3月会議は19人の議員が質問

有機フッ素化合物(PFAS)への対応について

小易 和彦 議員

問 上水道の敷設について、住民の負担軽減のため、市として支援していくことが必要と考えますが、検討状況を伺います。

答 PFASによる飲用水の汚染という事情に鑑み、地元住民の負担を軽減するための対応策として、配水管敷設に要する費用を市が負担することを検討しています。また、

放課後の学校内で行われるサービス、学校内アフタースクール等について

針貝 和幸 議員

問 放課後子ども教室の導入の見解を伺います。

答 令和6年度末に策定を予定している鎌ヶ谷市子ども計画(案)で実施について検討することを位置づけています。

問 学校内で習い事が可能なアフタースクールに対する見解と導入について伺います。

答 導入している千葉市ではサッカー、ダンス、英語、プログラミングなどを提供しており、有償ではあるものの放

PFAS等を巡る本市の対応について

津久井 清氏 議員

問 PFASを含む井戸水を飲んでいた住民に対する血液検査の実施状況を伺います。

答 69人の方から血液検査の要望があり3月6日現在で10人が血液検査を受けました。検査の助成費用は1回につき3万円を上限とし、1年度につき1回まで、最大2回まで

へ市から負担軽減につながる情報提供を行います。



ることを検討しています。

問 今後のPFAS対策について市長の見解を伺います。

答 上水道の敷設を推進するとともに、敷設までの間はウォーターサーバー等への補助期間の延長など各種支援策の拡充を検討します。さらに、汚染源の特定として諸元調査や観測井の設置などが必要と考えており、住民の不安解消のために全力を尽くします。

事業の見直しによって有効な行政サービスを行うための行政評価について

山中 優宏 議員

問 事務事業評価を通じた予算の削減によって、市民税の減税を目指すことについての市の見解を伺います。

答 市の財政構造は、近隣自治体と比較して固定資産税が極めて少なく、国庫支出金などの依存財源が多い状況で、自主財源確保のため企業誘致などの取組を行っています。また、歳出では扶助費等の増加への対応など、市民生活に密着した行政サービスへの財源確保が必要であるため、持

企業誘致の現状と誘致に関する環境整備について

水町 元大 議員

問 市の企業誘致の課題及び対応策を伺います。

答 企業側が希望する一定規模の用地確保が課題のため、都市基盤整備を進め適地の確保を図るとともに、金融機関等を訪問し、市の企業誘致支援制度等をPRしていきます。また、地域特性に配慮し、鎌ヶ谷市らしさを反映した企業誘致施策の推進が重要と認識しています。

問 創業支援の現状と実績を伺います。

答 創業支援セミナーの継続的な実施していきます。

請願・陳情を提出される方へ

請願・陳情はどなたでも提出することができますが、定例の会議で審議を希望する場合は、議会事務局窓口へ直接提出してください。

請願書は、議員の紹介が必要です。(※陳情書は不要)要旨は簡潔、明瞭に記載してください。

内容が多岐にわたる場合は、それぞれ別の請願書(陳情書)に分けてください。

なお、郵送により提出された陳情は、その写しを全議員に配付しますが審議はいたしません。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

パスポートの申請等について

森谷 宏 議員

問 市のパスポート窓口における2025年旅券の取扱いについて伺います。

答 令和7年3月24日から戸籍情報とパスポート業務システムとの情報連携が可能となるため、同日から、切替えや初めての申請を含めて、オンラインの申請を開始します。

若者の自己肯定感の醸成に関する本市の取組について

河内 一朗 議員

問 諸外国と比較して日本の若者は自己肯定感が低いと言われていますが、自己肯定感を育む学校教育について伺います。

答 小中学校では、児童生徒一人一人の良さを生かすため学校生活全体を通して小さな成功体験を積み重ねよう係活

大規模災害時の対応について

泉川 洋二 議員

問 市の指定避難所の収容人数の実数を伺います。

答 鎌ヶ谷市地域防災計画では、21か所の指定避難所合計で1万5千317人ですが、鎌ヶ谷市避難所運営マニュアルでは、五本松小学校を例にした収容人数割合から積算すると

シェアサイクル(※)事業について

伊福 幸一 議員

問 事業を実施することになった経緯を伺います。

答 シェアサイクルは、不特定多数の人が移動手段として自転車を利用でき、公共交通の補完や鉄道駅などの交通結節点から自宅付近までの移動を担う交通手段としての活用が期待されること、また、既

対し、オンライン申請の場合は、自分の好きなタイミングで申請ができるため、申請時の来庁が必要なくなることで、そのほか、手数料の支払いにクレジットカードなどの手段を選択できることや写真をデータでアップロードすることにより、写真印刷が必要なくなるなど、メリットがあります。

測困難であり、急激な変化も見込まれるため、自己肯定感を持つことが他者との協働につながると思っています。そのため、新学習指導要領の着実な実施とICTの活用により、従来の日本型学校教育から一人一人の可能性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びの実現を確かなものにしていきます。

定福祉避難所整備の今後の見込みを伺います。

答 個別避難計画は順次作成しており、避難支援体制の構築を図ることで、安心して暮らせるまちづくりを目指します。また、指定福祉避難所の整備は、高齢者施設、障がい者施設などとの協定による充実を図りつつ、地域防災計画の改訂の中などで検討します。

クルステーションは、市内の公共施設や民間施設などに設置し、公共施設では、公園や市民体育館、公民館など28か所、駐車台数150台分程度の区画を設ける予定です。



(※) シェアサイクル：一定のエリア内に複数設置された自転車の貸出、返却拠点において相互に自転車を利用できる交通手段のこと。